

経営比較分析表

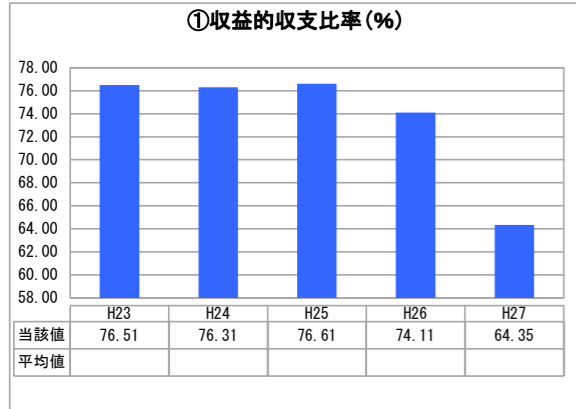
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.99	84.08	2,224

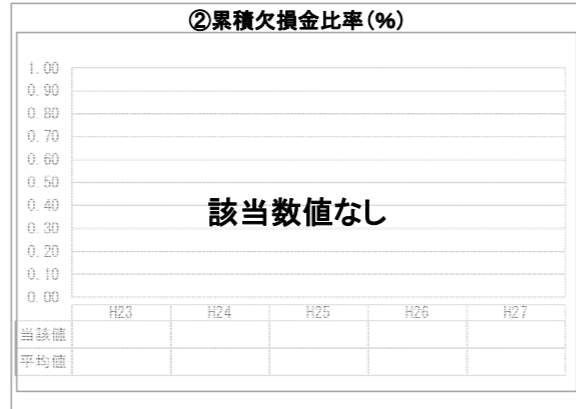
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
54,842	7.72	7,103.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
55,220	6.47	8,534.78

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



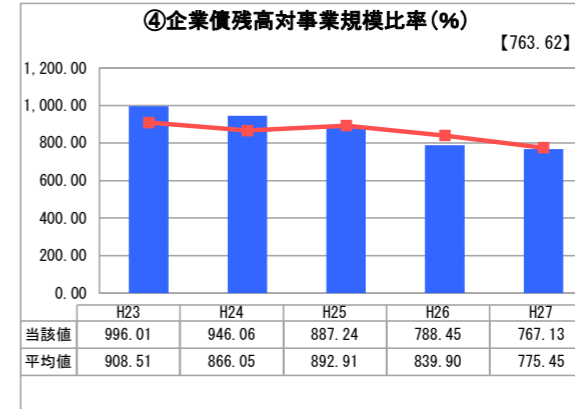
「単年度の収支」



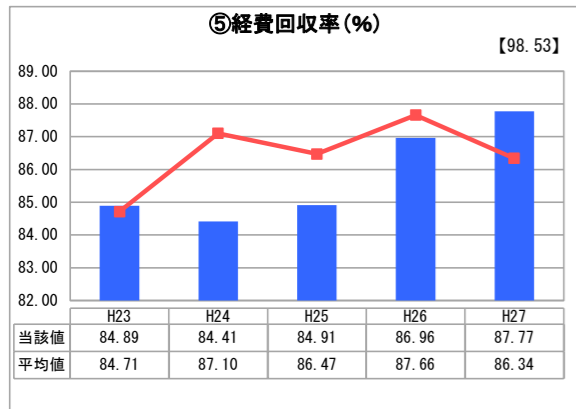
「累積欠損」



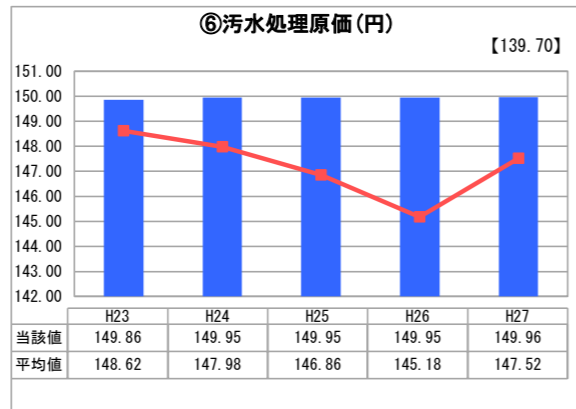
「支払能力」



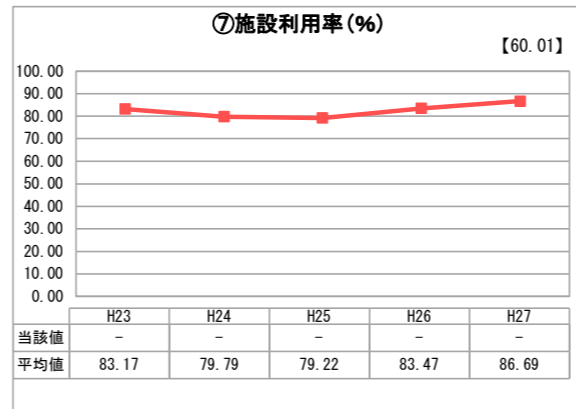
「債務残高」



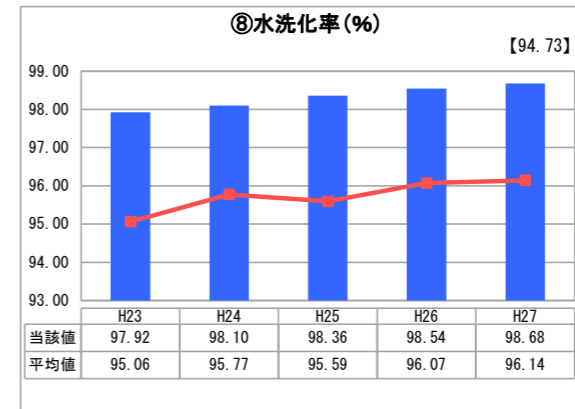
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

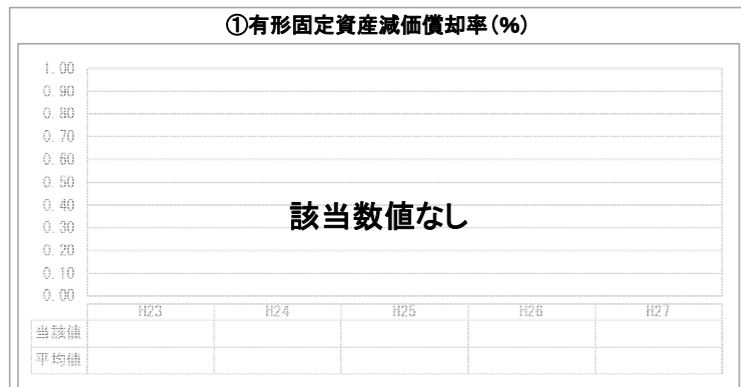


「施設の効率性」

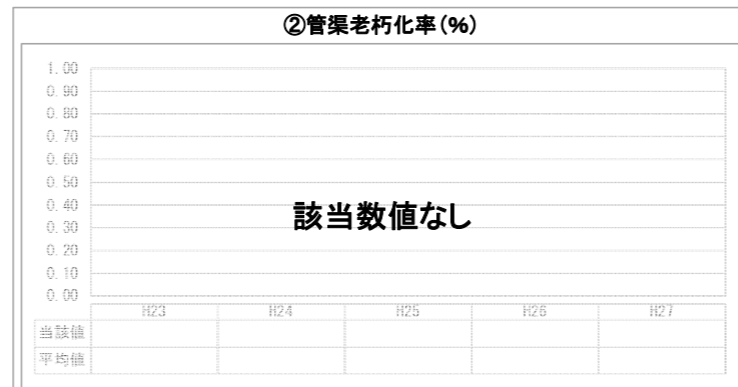


「使用料対象の捕捉」

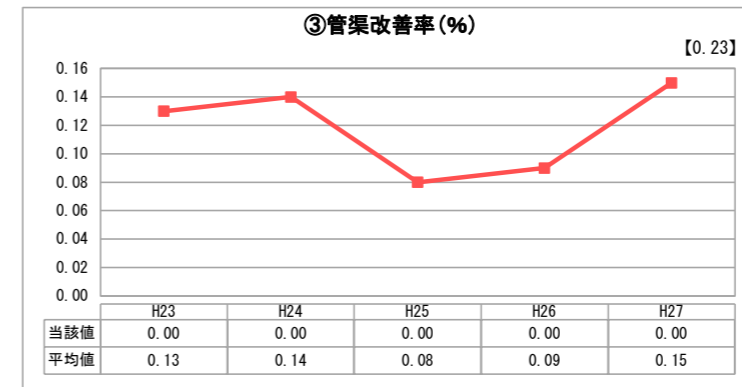
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
必要な歳出が下水道使用料等で賄えておらず、一般会計からの繰入金に依存していることから、100%を下回っています。
- ④企業債残高対事業規模比率
汚水事業整備が平成12年(2000年)に完了しており、工事費の財源である企業債の新規借入の必要がないことから、年々減少しています。
- ⑤経費回収率
汚水処理費に含まれる企業債償還金が減少するため、改善しています。
- ⑥汚水処理原価
分流式であることから、汚水資本費が高くなるため、類似団体と比べて高くなっています。
- ⑦施設利用率
市全域が桂川右岸流域下水道に含まれているため、終末処理場を所有していません。
- ⑧水洗化率
汚水事業整備が平成12年(2000年)に完了し、早くから水洗化を進めたため、類似団体と比べて高くなっています。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率
昭和49年(1974年)から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、予防保全型の維持管理を行い、下水道管渠の長寿命化に取り組んでいます。

全体総括

歳出の大部分を占める企業債償還金が減少傾向にあります。使用料で歳出を賄えない状況は今後も続く見込みです。そのため、下水道使用料適正化の検討や低金利への企業債借換等が必要です。現在、経営健全化向上のため、弾力的な経営が可能となるよう、地方公営法適化を進めているところです。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。